

短歌

末武 有二 選

目覚めて聞く眠れぬ夜半に切々とリズム崩さぬこほろぎの声 安永 守住 孝子
鈴なりの柿の熟れ実のご馳走に鳥等うれしげさえずり唄う 惣領 島田 廣子
十三夜まろき頬した吾子を抱き見上げし月は今も昔も 木山 赤城 香織
有田焼火鉢の池を棲家にしメダカの子らがちらちら泳ぐ 惣領 垣野 幸一
大輪の向日葵の種かぞえてる二千を超えて孫は興奮 木山 本田 龍子
コンバイン豊作の稲刈りゆき湧水の河鴨帰るくる 惣領 甲斐 道夫
運動会家族揃って応援し秋空に響く子達の歓声 広崎 日野 ヒロ子
大声で怒鳴るあなたは北斗星光り輝き幸多かれと 馬水 増田 訓子
お彼岸も過ぎて今夜は中秋の列島照らす黄金の月 惣領 新居 露子
どっこいしょ動作を変える掛け声に老いの哀え祖父のため息 赤井 増岡 伸禧
あかね色夕暮れ時の散歩道コスモスみたいと言われたことも 赤井 米澤 さわ

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

親ゆずり朝飯前に栗拾い落花生炒れば義母の手浮かびけり運動会孫等の踊りに感動し秋夜長一人筋トレ松葉杖江図の湖屋形に酒の月見かな阿蘇望のコスモス畑の迷路かな秋晴れや実りの町の木山橋ブイいくつたゆとう秋の入陽かな山積の中より我の日記買ふ一句鑑賞 星満て球磨の盆地の霜夜かな

川柳

布田川左門 選

【お題】 自由詠
日本一周約束果たすがまだしもん若々し子ども議会は六回目久しぶり浪花の虎が牙を剥き髪染めて若返りたる誕生日
【お題】 登山
初心者は無難なコース飯田山滑落の遺影と登る雪の尾根寒露の日甘露煮創る山男銭湯の富士山何時も日本晴れ

次回のお題 「九州場所」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。



益城の文化財
町文化財保護委員会

上陳・堂園

辻ヶ峰公園の二つの碑

「辻ヶ峰」は上陳と堂園地区を隔てる小丘です。周辺の木々が大きくなりましたが、昭和の時代には津森地区を一望でき、桜の季節には花見も行われていました。

この頂上に二つの碑(『日奈久遭難慰霊碑』と『忠魂碑』)があります。

昭和24(1949)年11月5日、津森小では戦後初めての修学旅行が実施されました。しかし、目的地の日奈久沖で、不幸にも遊覧船が転覆し、6年生22人、先生1人、校医1人の尊い命が失われました。この事故(遭難)は津森だけでなく熊本県下に衝撃を与えました。

『日奈久遭難慰霊碑』は、「24の霊を慰め、残された者のしのび草になるものを」との意を含めて、昭和25(1950)年7月15日に建立されました。正面には「慈母観音像を囲む師弟24名の面影」の大理石レ